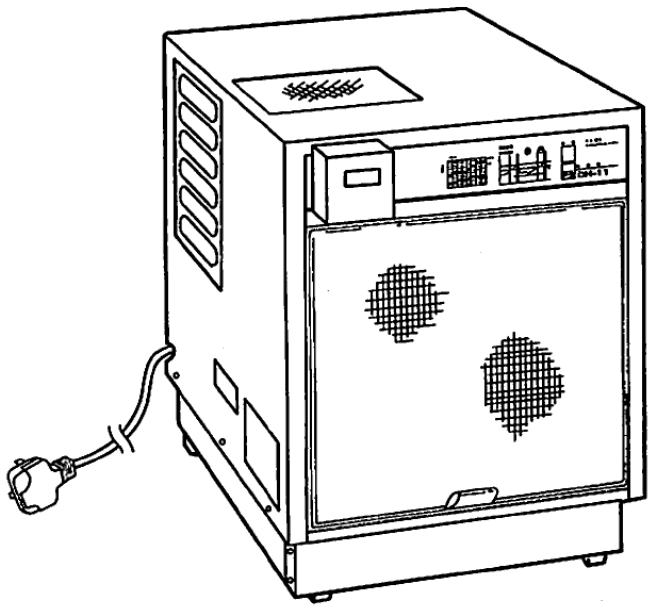
取 扱 説 明 書

ピーエス除湿機

DH-11G

このたびはピーエス除湿機をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。

- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとはいつでも手元においてご使用ください。



目　次

特徴	表紙
安全上のご注意	1
各部のなまえ	5
操作部のなまえとはたらき	5
ご注意とお願い	6
ご使用前の準備	7
運転のしかた	7
お手入れのしかた	8
いつまでもご愛用いただくために	9
機械の調子がおかしいときは	9
ご販売店様へ	１０
仕　様	１１

特　長

1．小形ながら 29／32ℓ／d（27℃，60%，50／60Hz）の強力除湿能力があります。
2．高性能エアフィルター採用による除塵性能向上
3．エアフルターのワンタッチ着脱
4．背面を壁にピッタリ付けての設置も可能
5．ダクト（別売）の接続可能
6．キャスター（別売）の取り付け可能
※別売部品については、お求めの販売店にご相談ください。

安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
●表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	誤った取り扱いをすると人が死亡するまたは重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると人が重傷を負ったり、物的侵害の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害をさします。

図記号の例

	⃠ は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、 ⃠ の中や近くに文章や絵で示します。
	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」を示します。

設置・据え付け上の注意事項

⚠ 警告

アースを必ずとること。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に、接続しないこと。

アースが不完全の場合は、感電の原因になります。

⚠ 注意

床がじょうぶで水平な所で使用のこと
使用中に除湿機が倒れると内部の水が室内にこぼれ家財などを濡らしたり、感電・漏電・火災の原因になることがあります。

せまい場所に入れないこと
風通しが悪くなり、発熱・発火の原因になることがあります。

屋外で使わないこと
屋内専用です。直射日光の当たる場所で使用すると発熱や漏電・感電・火災の原因になることがあります。

油・可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置はおこなわないこと
万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因になることがあります。

水のかかる所で使用しないこと
水がかかると感電・火災の原因になることがあります。

連続排水する場合は、排水ホースの配管処理を確実におこなうこと
ホースが折れ曲がっていたり、トラップがあると排水が不完全になり室内にこぼれ家財などをぬらしたり、感電・漏電・火災の原因になることがあります。

排水ホースの周囲温度が氷点下以下になる場合は使用しないこと

ホース内部の水が凍結し、排水が不完全になり室内にこぼれ家財などをぬらしたり、感電・漏電・火災の原因になることがあります。

使用上の注意事項

⚠ 警告

電源プラグの抜き差しにより除湿器の運転や停止をしないこと
感電や火災の原因になります。

電源プラグは、ほこりが付着してないか確認し、がたつきのないように刃の根元まで確実に差し込むこと
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 警告

電源コードは、途中で接続したり延長コードの使用、他の電気器具とのタコ足配線をしないこと
感電や発熱・火災の原因になります。

電源コードは、破損させたり加工しないこと
電源コードは、重いものを乗せたり加熱したり、引っ張ったりすると破損し感電・火災の原因になります。

空気の吹出口や吸込口や放熱口に指や棒を入れないこと
内部ファンが高速回転しておりますので、けがの原因になります。

スプレーなどを吹きつけたり、スプレー缶をそばに置かないこと
可燃性スプレーや有機溶剤を近くで使用すると火災・爆発の原因になります。

定格電圧以外で使わないこと
表示以外の電圧で使用すると、感電や火災の原因になります。

発熱器具の近くに置かないこと
ユニットが過熱し、感電や火災の原因原因になることがあります。

電源ヒューズの代わりに針金等を使用しないこと
万一過電流が流れたとき、電源が切れず感電・火災の原因になります。

⚠ 注意

貴重品の保管について
美術品の学術資料などは、その特性によって最適な湿度が異なります。ご希望の湿度に維持できるかご確認の上ご使用ください。保存品の品質低下の原因になることがあります。

ユニットの風が直接あたる所に燃焼器具を置かないこと
燃焼器具の不完全燃焼の原因になります。

花びんなどを乗せないこと
万一たおれて、水がユニット内部に入ると電気絶縁が劣化し、感電・漏電・火災の原因になることがあります。

ユニットの上に乗ったり腰掛けたり踏み台にしないこと
落下・転倒などによりけがの原因になります。

⚠ 注意

運転したまま移動しないこと
移動中に内部の水が室内にこぼれ家財などをぬらしたり、感電・漏電・火災の原因になることがあります。

可燃性ガスの漏れる恐れのある場所での使用はおこなわないこと
万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると発火の原因になります。

吸込口・吹出口や放熱口はふさがないこと
風通しが悪くなり、発熱・発火の原因になります。

無人で長時間使用になる時は、使用する前に点検をすること
絶縁劣化により漏電・火災の原因になることがあります。

除湿機をたおさないこと
内部の水が室内にこぼれ家財をなどをぬらしたり、感電・漏電・火災の原因になることがあります。

電源プラグの抜き差しは、プラグを持っておこなうこと
引っ張って抜くと芯線の一部が断線して発熱・発火の原因になります。

掃除をするときは必ずスイッチを「切」にし、プラグも抜くこと
内部でファンが高速回転しておりますのでけがの原因になります。

長期間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと
ほこりがたまって発熱・発火の原因になります。

ユニットを水洗いしないこと
感電の原因になります。

腐食性成分を発生させる線香の乾燥などには使用しないこと
熱交換器が腐食し故障します。

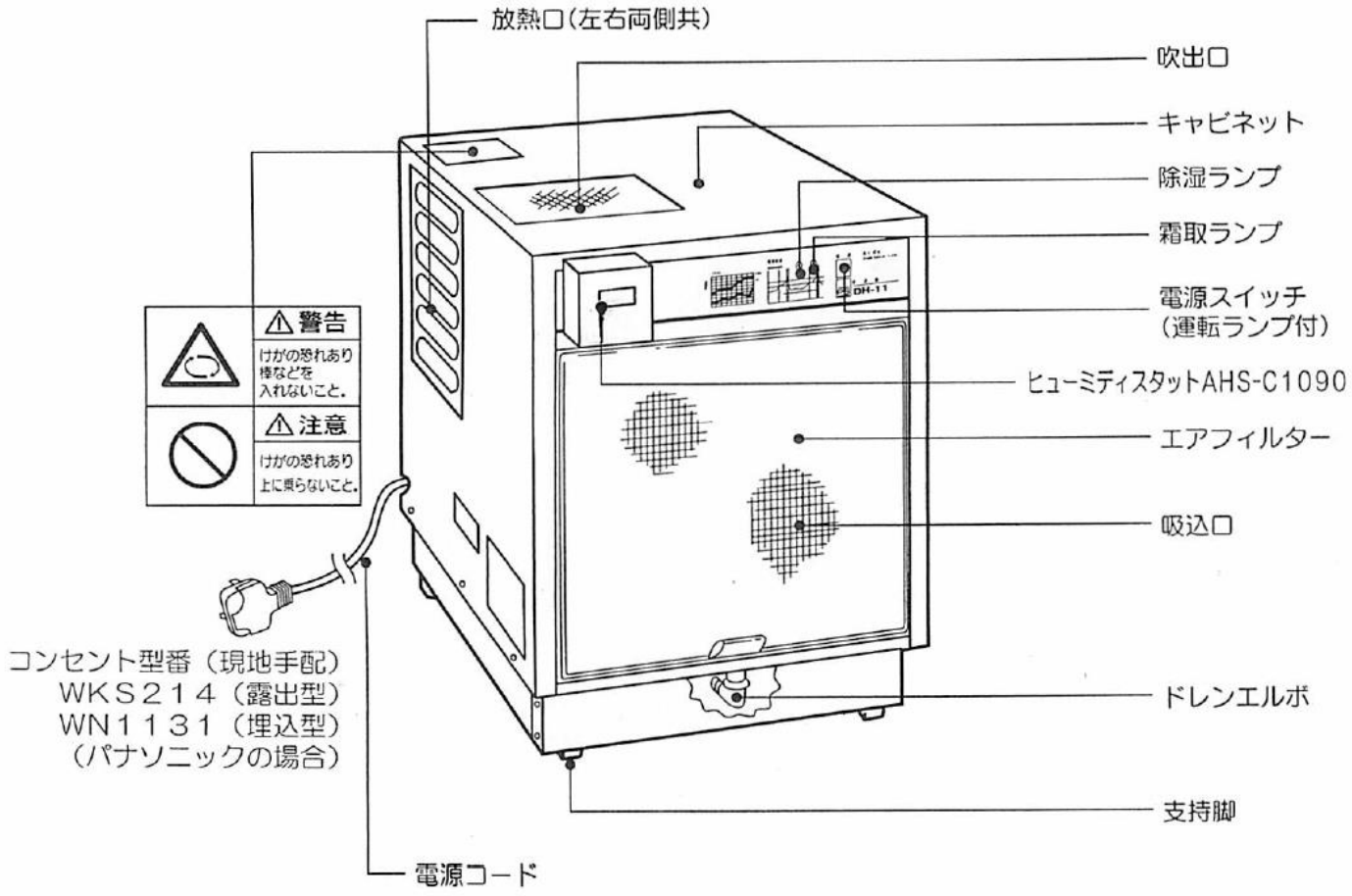
修理時の注意事項

⚠ 警告

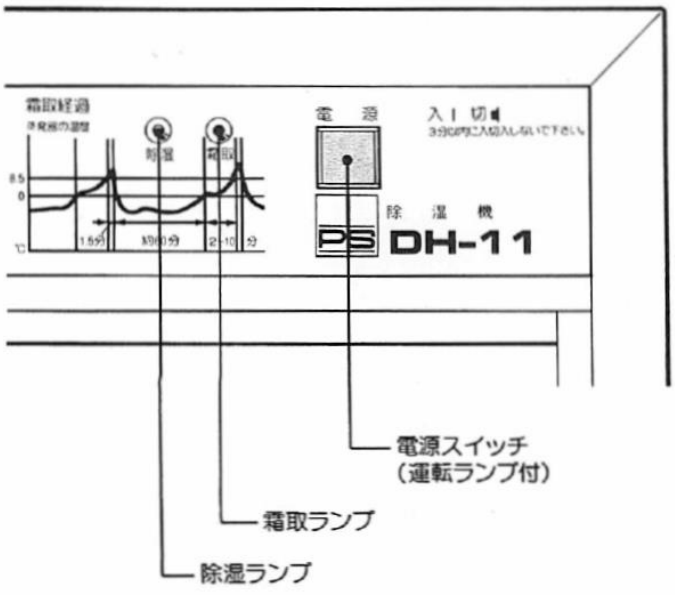
異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源プラグを抜き、お買い上げの販売店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口へご連絡ください
異常のまま運転を続けると故障や感電・火災などの原因になります。

修理は、お買い上げの販売店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口へご連絡ください
修理に不備があると感電・火災の原因になります。

各部のなまえ



操作部のなまえとはたらき



電源スイッチ

機械の運転、停止を行います。

除湿ランプ・霜取ランプ

除湿・霜取運転などの状況が一目でわかります。

自動霜取方式を採用していますので室温１℃まで除湿運転ができます。約 15℃以下で運転しますと内部の蒸発器に霜がつきます。この霜を取るために約１時間に１回霜取装置が自動的に働きます。このときカチッと音がしてファンが停止しますが、故障ではありません。

（電源スイッチを切ったり、電源プラグを抜いたりしないでください。

霜取運転の時間はご使用になる場所により異なりますが約３~15 分で通常の除湿運転に戻ります。

ご注意とお願い

運転前のご注意

●1℃～40℃のお部屋までお使いください。
０℃まで使用しますと除湿した水が凍結します。また、37℃60%、40℃50%以上ですと機械に無理がかかり、オーバーカレントリレー（O･C･R）が動作したり、電源ヒューズやブレーカーが切れることがあり、正常に運転ができなくなります。

●除湿機の上に腰をかけたり、踏み台にしたりしないでください。

●電源には単相１００ｖ１５Ａの漏電遮断器を設けてください。

●３分以上お待ちください。
運転をいったん止めて再び運転を始めるときや湿度調節器が働いて除湿運転が停止した時は、再び除湿運転を始めるまでに約３分かかります。

●エアフィルターをお忘れなく。
必ずエアフィルターがはめこまれていることを確かめてから運転を始めてください。
エアフィルターを忘れて運転しますと、室内空気の除塵効果が少なくなり、機械がよごれ除湿効果も少なくなります。

運転中および運転後のご注意

●停電になった時は、スイッチを切ってください。
運転中に停電になり、スイッチをそのままにしておきますと、次に電気がきたときに各種電気製品が同時に始動し、大きな電流が流れ、ブレーカーが動作したり、電源ヒューズが切れることがあります。

●電源ヒューズの代わりに針金などを使用しないでください。
万一電源ヒューズが切れたときは、必ず正しいアンペアの電源ヒューズと交換してください。針金や銅線などを使うことは、絶対にしないでください。

●湿度が低いときは機械が運転しても除湿しないときがあります。（５０%以下）

●つぎのようなときは、除湿機を室外に移すか、あるいはポリ袋などで厳重に保護してください。
1.大掃除などでほこりがひどいとき。
2.散水をおこなうとき。
3.消毒、殺菌をおこなうとき。
4.その他製品に悪影響を及ぼすと思われるとき。

●窓、扉などを閉めてください。
外部の空気が多く流れ込みますと、室内の除湿が十分におこなわれません。また部屋の扉の開閉はできるだけ少なくしてください。

●除湿機はエアコンと違い、運転しているうちに本体内部のモーターや凝縮器から出る熱のため部屋の温度が少し上昇します。

ご使用前の準備

1 10 ㎡(6 畳)以上の空間がある場所に据付けてください。

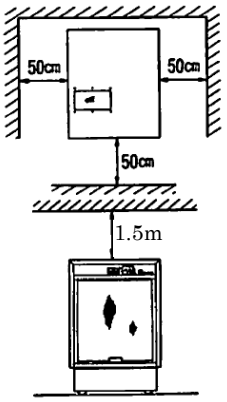
「押し入れ」のような狭い場所で運転しますと周囲の温度が上昇して 40℃以上となり、機械に無理がかかり、正常な運転ができなくなります。

⚠ 注意

- ●防爆型ではありませんから、引火や爆発物等の危険のある場所に設置しないでください。
- ●熱源の近くには据付ないでください。
  石油ストーブなどの熱を直接除湿機にあてますと故障の原因となることがあります。

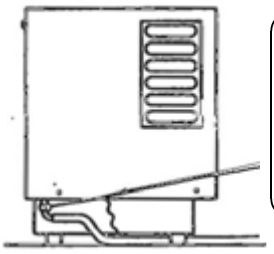
2 周囲に障害物がないようにして、しっかりした平らな床に設置してください。

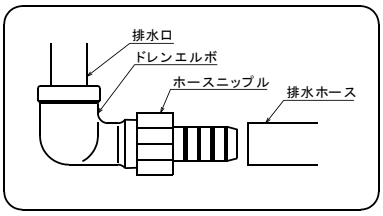
- ●除湿機の前面・側面 50cm は通風の妨げになるものは置かないでください。
  プレナムチャンバー付きは前面 3m 必要です。
- ●キャスターを付けてご使用になる場合には、動き出さないように車輪を固定したり、車輪を脚座の上にのせてください。床が不安定ですと騒音や振動のもとになります。



3 排水ホースを取り付けてください。

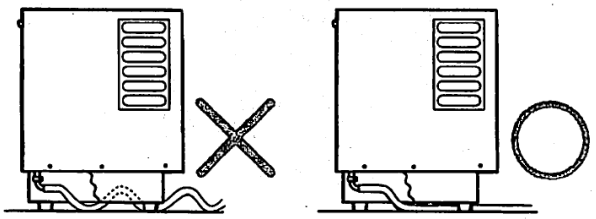
排水ホースが付属されています。ドレンエルボ先端のホースニップルに排水ホースを接続してください。

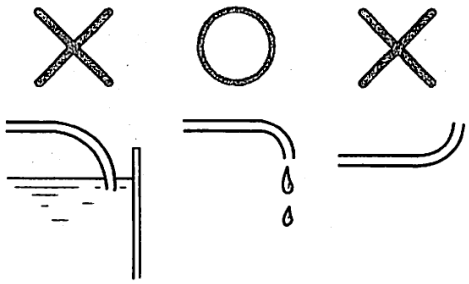




⚠ 注意

排水できなくなりますからホースを必要以上に長くしたり、ホースの途中にトラップをつけたり、ホースの先端を水中に入れたりしないでください。





●排水ホースの結露について

高湿度のとき排水ホースに結露し、床をぬらす場合がありますので、その場合には受皿を設置するなどの処置をしてください。

●凍結注意

ホース内の除霜水が凍結し流れなくなるおそれがあるため、設置場所が氷点下にならないようにしてください。

4 電源スイッチの位置が「切」になっていることを確かめてから、電源プラグをコンセントに差し込みます。

電源は必ず専用コンセントをご使用ください。
二個以上あるコンセントでも同時に他の電気器具を使用しないでください。

5 アース線を取り付けてください。

万一の感電防止のためアースおよび漏電遮断(15A)を取り付けてください。アースを水道管などに接続しますと配管途中に塩化ビニール管などの非金属パイプを使っていることがあります。この場合、アースになりませんのでご注意ください。ガス管には絶対接続しないでください。詳しくは販売店にご相談ください。なお、水気又は湿気のある場所にはD種接地工事が必要です。

運転のしかた

●電源スイッチを「入」の位置に合わせてください。

運転ランプが点灯し除湿運転を行います。

お手入れのしかた

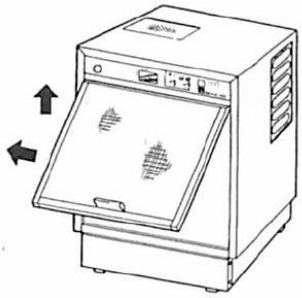
お手入れは必ずスイッチを「切」にし、コンセントから電源プラグを抜いてからおこなってください、
電源プラグの抜き差しは、
コードを引っ張らず、必ず
電源プラグを持っておこな
ってください、

エアフィルターのお手入れ

●エアフィルターにほこりがつまりますと、風の出かたが少なくなり、除湿能力が低くなります。
ご使用中は２週間ごとに掃除をしてください。
汚れがとれなくなったり、ほころびたりしたら交換してください。
交換の目安は１年です。

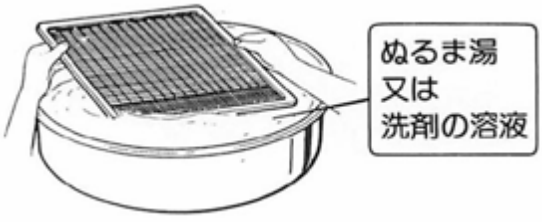
エアフィルターの取り出しかた

●フィルターの手かけを持って、いったん上方にあげたあと、手前に引いて取り出します。



エアフィルターの取り洗いかた

●エアフィルターのほこりは、電気掃除機をお使いになるか、軽くたたいて落としてください。汚れのひどいときは、40℃以下のぬるま湯か水の中に浸し、上下に動かしながら洗ってください。
●洗剤の溶液をご使用になれば、なお理想的です。
よごれがとれましたら、水でよくすすぎ、十分にかわかしてから、もとどおりにはめ込んでおいてください。

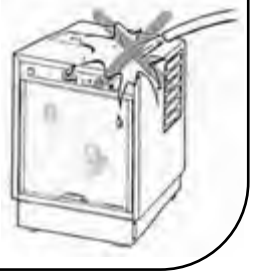


キャビネットがよごれたとき

●やわらかい布でからぶきしてください。
よごれがひどいときは、40℃以下のぬるま湯か水でよごれをふきとってください。

⚠ 注意

●化学ぞうきんでふいたり、長時間接触しておきますと変質したり、表面がはげたりすることがありますのでご注意ください。
●ベンジン、シンナー、みがき粉などは変形したり割れたりすることがありますのでお使いにならないでください。
●直接水をかけて掃除することは絶対にしないでください。電気絶縁を悪くします。



ドレンホースの清掃

●ドレンホースの中が汚れて詰まってくると、除湿機から水が溢れる恐れがあります。
３ヶ月～６ヶ月に一度、ホース内の汚れを確認し、汚れていたら清掃してください。
（市販のエアコン用ドレンホースクリーナー等でホース内の汚れを吸引してください）

長い間除湿機をつかわないときは

●電源プラグをコンセントから必ず抜いてください。
機内を数日間乾燥させてから、ポリ袋などのカバーをかけてほこりを防いでください。

いつまでもご愛用いただくために

●長期間にわたって除湿機を安全に効率良くご使用いただくため、次の点にご配慮くださ

使用場所

●吸込口、吹出口、および放熱口の周囲は、十分にあけて通風の妨げにならないようご使用ください。

●可燃性ガスのもれる恐れのあるところはさけてください。

●油（機械油含む）の多いところや、海岸地区など塩分の多いところ、温泉地など硫化ガスのあるところなど除湿機の使用環境が特殊な場所でご使用の場合は特殊な保守などが必要になりますので、販売店にご相談ください。

点検整備

●ご使用状態によってもかわりますが、除湿機を３～５年ご使用になりますと、内部がよごれ除湿能力がさがることもありますので、８ページの通常のお手入れとは別に点検整備が必要です。

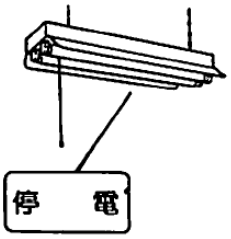
●点検整備は、お買いあげの販売店にご相談ください。なお、この際は実費をいただきます。

機械の調子がおかしいときは

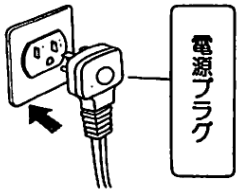
●修理サービスをお申しつけになる前に、次の点をお調べください。

運転しない時

●停電ではありませんか。

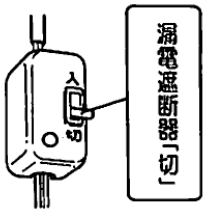


●電源プラグが外れていませんか。



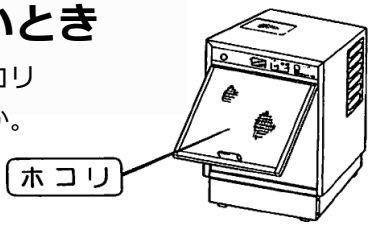
●漏電遮断器が動作したり電源ヒューズが切れたりしていませんか。

●ヒューミディスタットの設定は合っていますか。

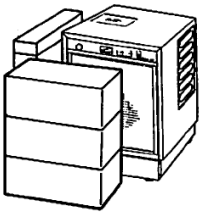


よく除湿しない時

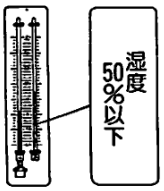
●エアフィルターにホコリがつまっていませんか。



●吸込口、吹出口、および放熱口のまわりの風通しが悪くなっていませんか。



●部屋の湿度が 50%以下になっていませんか。



●以上のことをお調べになってもなお不具合のときはスイッチを「切」にし、コンセントから電源プラグを抜き、お買いあげいただいた販売店に機種名、不具合の状況を連絡して診断を受けてください。ご自分での修理は絶対にしないでください。

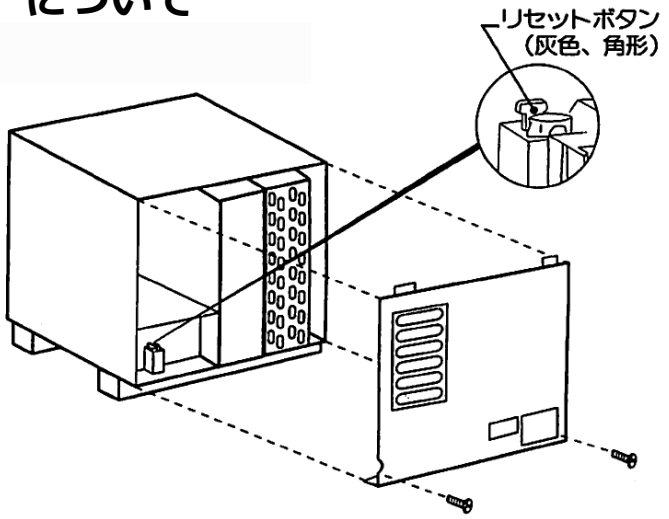
ご販売店様へ

オーバーカレントリレー（O･C･R）について

（過熱防止リレー）

●オーバーカレントリレーは機械の保護安全のためについています。動作したときは、原因を取り除いて電源プラグをコンセントから抜いてオーバーカレントリレーのリセットボタン（灰色・角形ボタン）を押してください。動作した原因は過負荷運転が考えられますが、使用状況についてご調査ください。

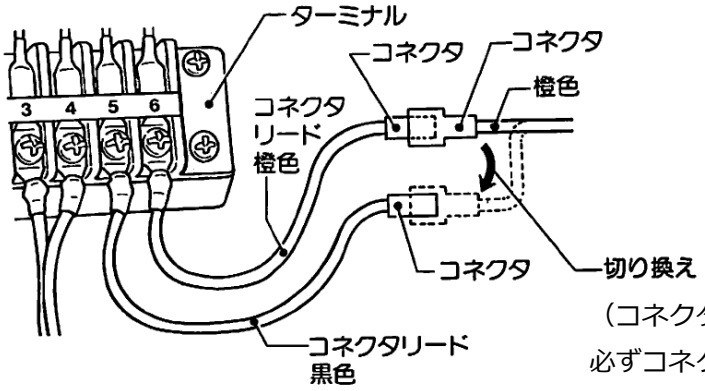
●オーバーカレントリレーは、電源コードが出ているキャビネットをはずしますと操作できます。



ダクトの取り付けについて

●別売の吸込ダクト・吐出ダクトを取り付けることが出来ます。詳しくはお求めの販売店にご相談ください。

●ダクトを取り付ける場合は、コネクタリード(橙色)に接続されているリード線（橙色）を、コネクタリード（黒色）に切り換えてください。



（コネクタの切り換えは、リード線を引っ張らず、
必ずコネクタ部を持っておこなってください。）

キャスターについて

●別売のキャスターを取り付けることが出来ます。詳しくは、お求めの販売店にご相談ください。

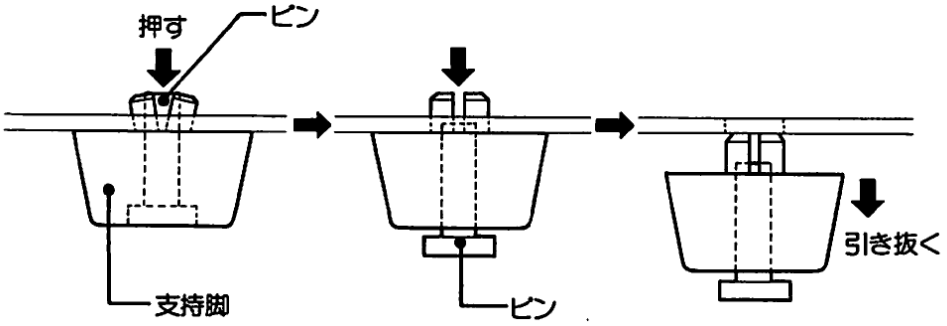
●キャスターの取付方法

①.プラスチック支持脚をはずし、キャスターをネジ四本で固定します。

（プラスチック支持脚は、下図のように中心のピンを抜くとはずすことができます。）

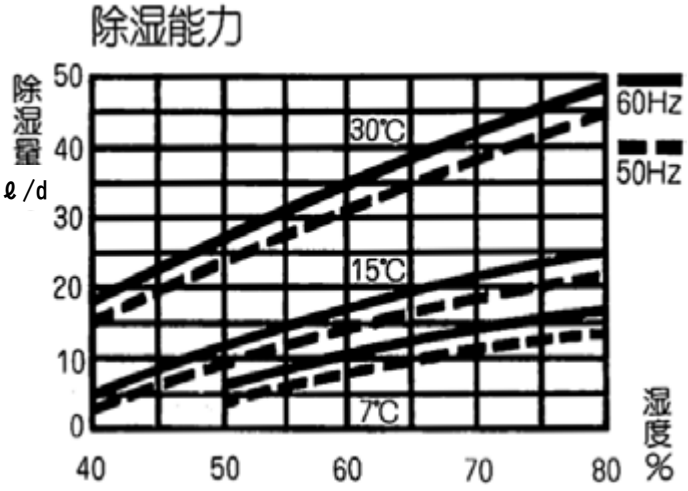
②.支持脚・キャスターの取り付け・取りはずしは、必ず機内が乾燥した状態でおこなってください。

③.除湿機を横倒しにして取り付けた後は、元の状態に起こして 30 分以上経過してから運転を開始してください。



仕　様

形　　名	DH－11G
電　　源	単相 100V　50/60Hz
除湿能力（27℃/60%のとき）	29/32ℓ/d
消費電力	675/800W
製品質量	38kg
外形寸法（高さ x 幅 x 奥行）	621x430x484mm
使用可能温度	1～40℃



ピーエス工業株式会社

〒151-0063　東京都渋谷区富ケ谷 1-1-3

札　幌　☎011-372-7601　FAX372-8886　東　京　☎03-3485-8811　FAX3485-8833
盛　岡　☎019-653-3780　FAX653-3784　名古屋　☎052-838-5525　FAX 838-5526
仙　台　☎022-211-5431　FAX211-5434　大　阪　☎06-6338-7151　FAX6338-7187
長　野　☎025-228-4334　FAX227-4328　福　岡　☎092-281-9200　FAX 281-9233

SS03756404